

別府大学短期大学部

令和元年度 授業評価報告書

別府大学短期大学部

別府大学短期大学部 令和元年度授業評価報告書の刊行にあたって

別府大学短期大学部 学長 仲嶺 まり子

別府大学短期大学部では、平成 27 年度から「学生の授業評価アンケート」のデータ及び授業改善点について「授業評価報告書」を刊行している。

そのため、FD 委員会では、授業評価アンケートと授業改善に関する一体的事業として、毎年、報告書刊行と評価の高かった授業担当者による FD 研修会を実施し、授業改善に関する教員の意識向上と共有化を図っている。これらの事業の定着化と教務委員会によるアクティブラーニングの推進により、「授業評価」は全体的に高得点で推移している。

短期大学部の「学生による授業評価アンケート」は、開始当初より各期ともに教員自らが選んだ 2 科目を対象に実施していた。一部科目対象のアンケート実施については、短期大学基準協会による第 2 回認証評価（平成 24 年度）において、全科目対象実施への改善を図ることが今後の課題として指摘されていた。そのため、令和元年度第 3 回認証評価受審に向け、平成 29 年度後期から Web 利用のアンケートシステムを導入し、原則として全科目対象のアンケート実施により課題の改善を図った。

令和元年度授業評価アンケートの Q2. の評価は、前年度よりアップし、前期全体平均 4.49、後期全体平均 4.56 の高得点である。このことは、令和元年度からの新しい取組として、第 1 回目の授業で授業改善点についての学生への説明を導入し、教員自身によって改善点が再認識されたことも一因と考えられる。講義形態別では、「実験・実習」が高い評価を受ける傾向があるが、「講義」では少人数の場合に高評価の科目が多い。「演習」では、評価に幅が見られる。1 週間の学修時間を比較すると、1 時間～2 時間+2 時間以上の割合が「実験・実習」では 40% 強、「講義」では 20% 弱、「演習」では 20% 強という結果から、講義・演習での時間外学習の充実が課題と考えられる。

自由記述においては、例年同様「楽しい」「分かりやすい」という感想が多く見られる。授業評価の高い科目では、「将来に役立つ内容」「プリントや資料提示が適切」「アドバイスが適切」という記述から、授業準備が充分に行われていることが窺われる。

また、Q1. の学生の自己評価では、全項目が平均 4.4 以上の高評価であるにもかかわらず、依然として、「注意をしても、スマホをいじるのを止めない、友達との私語を止めない」など受講態度に悩む教員の声が聞かれ、今後は、より客観性の高い評価に向けて、項目の再検討などの改善が必要と思われる。

目次

巻頭言	別府大学短期大学部学長 仲嶺まり子……………	1
1. 授業評価アンケート実施要領……………		3
2. 「私の授業改善プラン」作成手順及び書式……………		7
3. 令和元年度前期・後期 対象学科別平均点一覧……………		9
4. 令和元年度前期・後期 学科別評価、学科長見解及び「私の授業改善プラン」(省略)		
食物栄養科……………		11
初等教育科……………		22

1. 授業評価アンケート実施要領

令和元年度 学生による授業評価アンケート実施要領

別府大学短期大学部

FD 委員会

1. 目的

学生による授業評価を行い、その結果を教員が授業内容の改善に役立てるとともに、FD 活動を促進し、ひいては本学の教育活動の質の向上に資することを目的とする。

2. 実施時期

(1) 前期授業評価実施期間：令和元年7月8日（月）～7月27日（土）

(2) 後期授業評価実施期間：令和2年1月6日（月）～1月25日（土）

3. 実施方法

(1) ウェブ（web）によるアンケート調査を実施する。

※「web アンケート実施手順」参照

4. 対象とする授業科目

(1) 原則として、全ての授業科目を対象とする。ただし、学外で集中的に実施される実習科目は、質問内容が合致しないため調査対象科目から除外する。なお、非常勤講師が担当する科目は科目数が少ないため調査対象科目から除外する。

5. 調査項目

(1) 質問項目の「Q1. あなたの受講態度について」は5項目とする

Q1-1. あなたはこの授業を休んだり遅刻したりしないで受講しましたか。

Q1-2. 授業中の私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。

Q1-3. あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。

Q1-4. この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。

Q1-5. この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。

(2) 質問項目の「Q2. 授業内容について」は12項目とする。

Q2-1. この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。

Q2-2. 授業時間は確保されていましたか。

Q2-3. 学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。

Q2-4. 教材（テキスト・配付資料）、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。

Q2-5. 板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。

- Q2-6. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。
- Q2-7. 学生が質問したり、意見を述べたりできるように配慮がなされていましたか。
- Q2-8. 教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。
- Q2-9. 教員は学びの環境を保つように配慮していましたか。
- Q2-10. 教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。
- Q2-11. この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。
- Q2-12. この授業は充実していて、満足できるものでしたか。

(3) 自由記述は「この授業で良いと思う点」、「この授業の改善点」の2項目とする。

6. 集計

- (1) 集計は外部委託とする。
- (2) それぞれの科目において集計し、各質問に対する平均値、選択肢ごとの回答の実数及び回答率を算出する。
- (3) 上記(2)と同様の集計を学科別及び学校全体で算出する。

7. 調査結果の活用

- (1) FD 委員会は、各教員に本人の評価（質問項目別の数値、自由記述）と学校全体の平均値を比較した結果を通知する。
- (2) 各教員は評価結果に基づき「授業改善プラン」を作成しFD 委員会に提出する。
- (3) FD 委員会は、各科の所属する教員の評価結果と授業改善プランを学科長に提出する。

8. 調査結果の公表

(1) 授業評価報告書による公表

全学集計結果、学科別集計結果及び分析結果、学科長見解、授業改善プランを集約し、授業評価報告書を発行する。

(2) 大学ホームページによる公表

- (1) の授業評価報告書の内容を大学ホームページに掲載し公表する。

9. 授業改善への反映

- (1) 各教員は、授業評価の結果から得られた所見を積極的に活用し、授業内容の改善に努める。
- (2) 各教員は、次年度の授業において改善点について学生に伝える。
- (3) 学科長は、所属する教員の評価結果と授業改善プランを確認し、評価が極端に低い教員に対して助言を行う。
- (4) FD 委員会は、授業評価の結果を分析し、FD 研修会において、授業評価の高い教員の授業実践例を紹介する機会を設け、教育内容の質の向上に努める。

ウェブ（Web）アンケート実施手順

学生の回答の手間と、教員の説明の手間を最小限にするため、各科目では次のような手順で回答を回収します。

1. 「科目番号」と「パスコード」の確認

各科目には、科目コードとは異なるアンケート専用の「科目番号」と、回答を始めるのに必要な「パスコード」を付与しています。まずはアンケートを実施する科目の「科目番号」と「パスコード」をご確認下さい。

① 「科目番号」について

学生は「科目番号」を使って、回答すべき科目の回答用ページを特定します。

② 「パスコード」について

各科目のアンケートに回答し始める際に、このパスコードを入力しなければ、回答ページが表示できない、という仕組みになっています。コードは3桁のランダムな英数字です。

2. 「在学生ポータル」の「メッセージ受信一覧」の「お知らせ」に掲載しているアンケートページへのリンクか下記 QR コード、または URL の手入力で「科目一覧ページ」を開かせる

各科目用の回答ページを集めた科目一覧ページが用意されており、これを学生に開かせます。下記の QR コードを読み取らせるか、アドレスを入力させてください。また在学生ポータルにも、このページへのリンクを掲載しています。

正しく開けると、下右側の画面が表示されます。



<http://creates.sub.jp/bu-survey/junior/201902/>

別府大学短期大学部
学生による授業評価アンケート
2019年度 後期

科目番号から探す

学科から探す

3. 「科目番号から探す」に「科目番号」を入力、または「学科から探す」から対象科目を選択する

回答したい科目は、2通りの方法で見つけることができます。

「科目番号から探す」では、直接「科目番号」を入力して、該当科目を探すことができます。

「学科から探す」では、学科別に各科目の回答ページ集めた一覧から、該当の科目を探します。

いずれの方法でも、各科目が右図のように表示されます。

開講時間や受講者数などで間違いがないか確認した上で、「回答開始」ボタンを押します。すると、右図のような「パスコード」入力画面が表示されます。

正しいパスコードを入力して「OK」を押すと、アンケートページが表示されます。

4. アンケートへの回答

アンケートの最初のページでは、「所属コース」「学年」「学籍番号」を入力してもらいます。

※「学籍番号」について

学籍番号の入力は、アンケートの誤回答や重複回答を防ぐためです。決して個人の特定等には使用しない旨を、学生に連絡してください。

各設問はほとんどがクリックだけで回答できます。設問は数ページありますが、各ページに回答が終わるたびに「次へ」で進みます。

最後の自由記述ページが終われば「完了」ボタンを押して、回答は終了です。

2. 「私の授業改善プラン」作成手順及び書式

2019（令和元）年度 「私の授業改善プラン」 作成の手順

1. 作成手順

- ① 前回の「授業改善プラン」に記述した内容のうち、今期の授業で実践したことを「今回の改善点」の欄に 100 字程度で記入する。
- ② 授業評価アンケート結果を受けて、先生方ご自身がどのように受け止めたかを、「評価結果の受け止め」と「自由記述の受け止め」に分けて、それぞれ 100 字程度で記入する。
- ③ 「評価結果の受け止め」、「自由記述の受け止め」の欄に記入したことを踏まえて、なぜそのような結果となったかの要因を先生方ご自身で分析して、「結果の要因」欄に 100 字程度で記入する。
- ④ 「結果の要因」欄に記入したことを踏まえて、来年度の授業をどのように改善するのか、「授業改善プラン」欄に具体的な方策について 200 字程度で記入する。

2. 提出締切

令和元年 9 月 28 日（土）まで ※メールで各科の FD 委員に提出

3. 留意事項

- 記入にあたっては、他の教員と、今回の結果を交換するなどして、意見交流を行うとより効果的な「私の授業改善プラン」を作成することができると考えます。
- 「今回の改善点」→「評価結果の受け止め」、「自由記述の受け止め」→「結果の要因」→「授業改善プラン」と相互の関連性が分かるように記入することが大切だと考えます。

4. 記入例

今回の改善点（100 字程度）

今期からは模擬授業を実践させ、事前の準備から指導案の作成、結果の振り返りまで、学生が主体的に取り組むことが出来る内容に変更した。また、これらの学生が作成した資料について、受講生が moodle 上で共有できるようにした。

評価結果の受け止め（100 字程度）

評価の得点は概ね良好であり、常に意識している 2-8 から 2-12 の項目については、今回も良い評価をもらえたようだ。しかし、2-6 の評価が悪くなっている。

自由記述の受け止め（100 字程度）

自由記述欄では、説明の詳しさや対応の丁寧さにおいて高評価を受けているようだ。しかし、伝える際の声の大きさについては聞き取りにくいという評価だった。また、前回からの改善点である模擬授業の方法などが好評であった。



結果の要因（100 字程度）

2-6 と自由記述については、学生がディスカッションをしている最中に指示などをしたことが要因と考えられる。2-8～2-12 については、模擬授業の方法を変えるなどの改善している姿勢が学生に伝わったことが要因と考える。

授業改善プラン（200 字程度）

学生への声がこれまで以上に届くように、学生がディスカッションをしている場合は、きちんと区切りをつけて次の指示を出すようにしたり、ディスカッションの前に先の流れを事前に説明したりするなど工夫したい。今回の結果に満足することなく、これまで以上に、「教える」というスタイルよりも「学生が自分で学ぶことができるような時間（アプローチ）」を増やしていこうと思う。

2019（令和元）年度 私の授業改善プラン

所属

氏名 _____

今回の改善点（100 字程度）

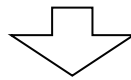
私は、今期の授業を行うにあたって、次のことを実践した！

評価結果の受け止め（100 字程度）

私は、今回の授業改善アンケートの評価結果を見て、次のように受け止めた！

自由記述の受け止め（100 字程度）

私は、今回の授業改善アンケートの自由記述を見て、次のように受け止めた！



結果の要因（100 字程度）

私は、今回の授業改善アンケートの結果を、次の要因によるものとする！

授業改善プラン（200 字程度）

だから、来年度の授業を、私は次のように改善する！

3. 令和元年度前期・後期 対象学科別平均点一覧

学生による授業評価アンケート 令和元年度前期 対象学科別平均点一覧

学科	科目数	回答枚数	学生の自己評価 [Q1]				授業の評価 [Q2]											
			1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			あなたは、この授業を休んだり遅刻したりしないで受講しましたか。	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	あなたは、この授業に意欲的に取り組みますか。	あなたは、この授業内容や課題やレポートなど、積極的に取り組んでいますか。	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されたか。	授業時間は確保されたか。	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていたか。	教材(テキスト・配布資料)、教員の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	板書の方や視覚機器による提示は効果的でしたか。	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	教員の話し方は、学生の質問、意見、意図が述べられるように配慮がなされていましたか。	教員の授業に対する熱意・真摯さが感じられましたか。	教員の授業の環境を保持するように配慮がなされていましたか。	教員はわかりやすく説明するよう努めていましたか。	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。
食物栄養科	48	1097	4.66	4.33	4.43	4.35	4.61	4.64	4.43	4.42	4.43	4.43	4.45	4.59	4.54	4.49	4.52	4.44
初等教育科	135	3721	4.60	4.41	4.53	4.55	4.55	4.64	4.52	4.51	4.48	4.51	4.49	4.56	4.55	4.54	4.52	4.51
全体	183	4818	4.61	4.39	4.51	4.50	4.56	4.64	4.50	4.49	4.47	4.49	4.48	4.57	4.55	4.53	4.52	4.49

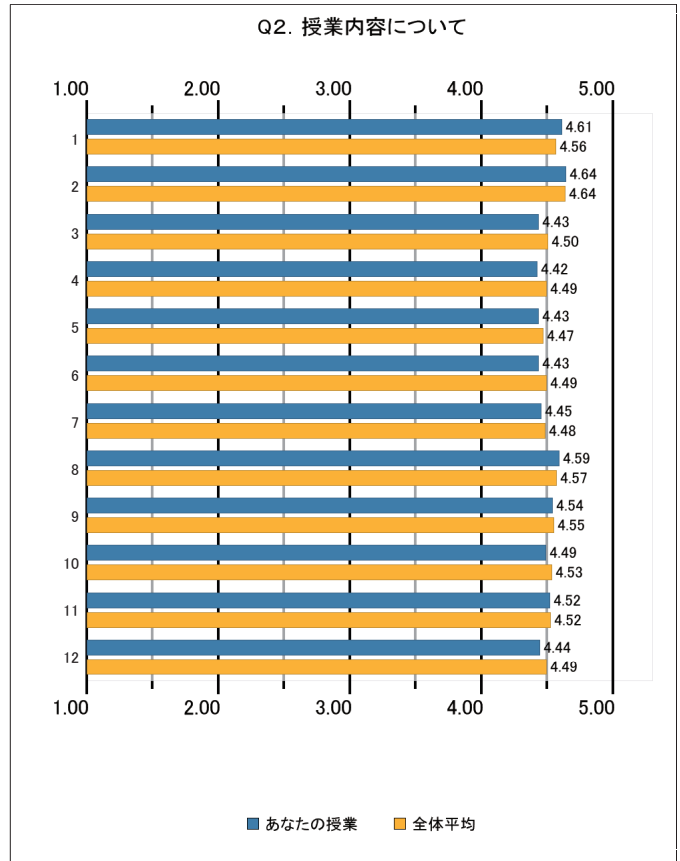
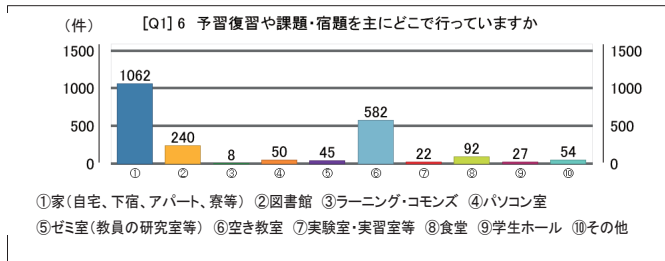
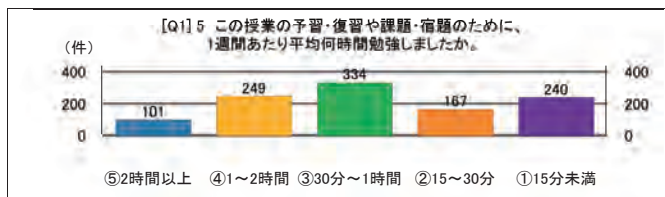
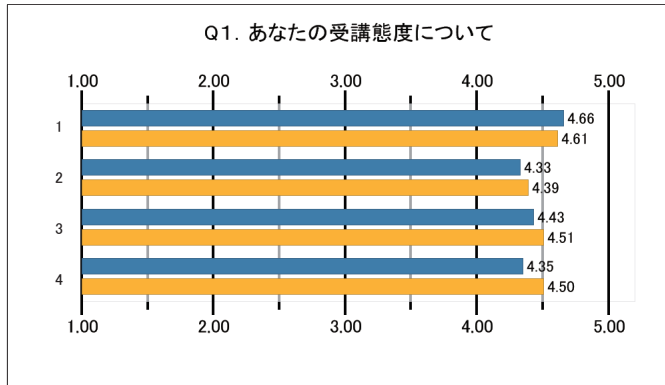
学生による授業評価アンケート 令和元年度後期 対象学科別平均点一覧

学科	科目数	回答 枚数	学生の自己評価 [Q1]				授業の評価 [Q2]											
			1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			あなたは、この授業を休んだり遅刻したりしないで受講しましたか。	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	あなたはこの授業に意欲的に取り組んでいますか。	この授業の内容やレポートなど、積極的に取り組んでいますか。	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されたか。	授業時間は確保されていたか。	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていたか。	教材(テキスト・配布資料)・教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	板書の仕方や視覚機器による提示は効果的でしたか。	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	教員の授業に対する熱意・真実感が感じられましたか。	教員の授業の環境を保つよう配慮をしていましたか。	教員はわかりやすく説明するよう努めましたか。	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。
食物栄養科	46	967	4.58	4.33	4.47	4.45	4.65	4.69	4.55	4.54	4.56	4.57	4.57	4.66	4.65	4.61	4.58	4.57
初等教育科	130	4179	4.55	4.45	4.55	4.58	4.58	4.63	4.54	4.53	4.52	4.52	4.50	4.59	4.56	4.55	4.55	4.55
全体	176	5146	4.55	4.43	4.54	4.56	4.60	4.64	4.54	4.54	4.53	4.53	4.51	4.60	4.58	4.56	4.56	4.56

4. 令和元年度前期・後期
学科別評価、学科長見解及び「私の授業改善プラン」
- (1) 食物栄養科
 - (2) 初等教育科

授業改善のためのアンケート 令和元年度前期

食物栄養科

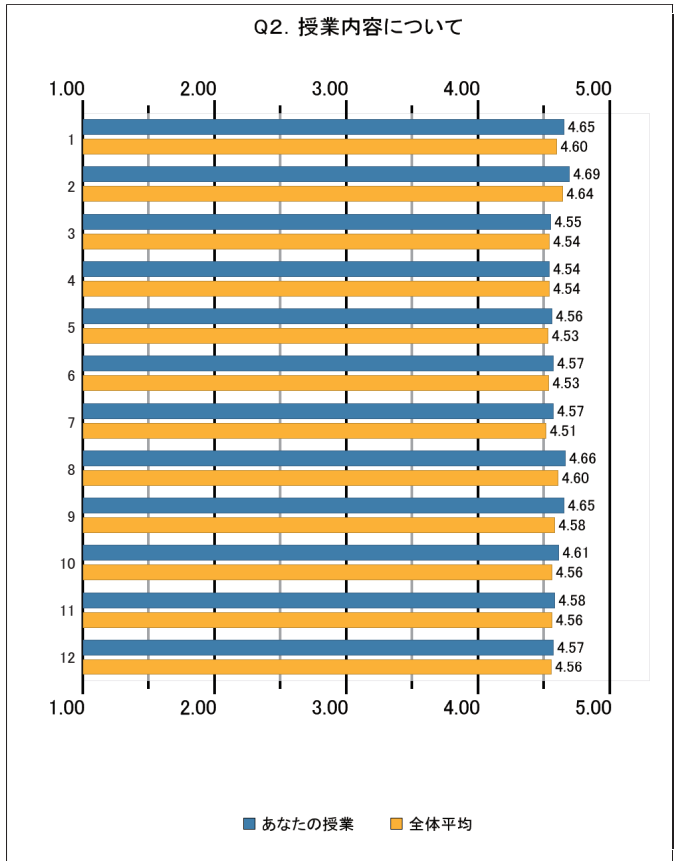
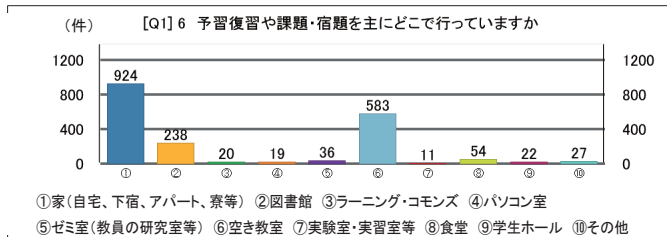
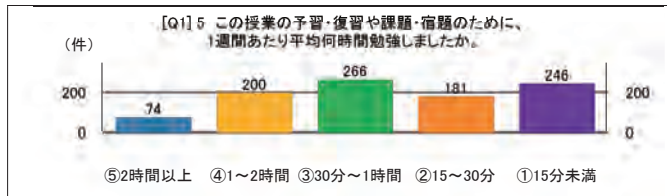
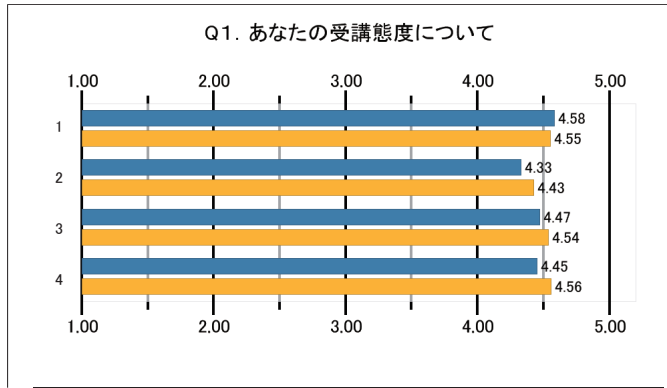


上段: 回答者数 / 下段: 割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻したりしないで受講しましたか。	827 75.4%	190 17.3%	47 4.3%	22 2.0%	5 0.5%	4.66	4.61
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	574 52.3%	359 32.7%	106 9.7%	43 3.9%	9 0.8%	4.33	4.39
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	632 57.6%	331 30.2%	101 9.2%	23 2.1%	4 0.4%	4.43	4.51
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	626 57.1%	295 26.9%	108 9.8%	45 4.1%	17 1.5%	4.35	4.50
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 101 9.2%	(1～2時間) 249 22.7%	(30分～1時間) 334 30.4%	(15～30分) 167 15.2%	(15分未満) 240 21.9%	2.82	2.32
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	773 70.5%	238 21.7%	61 5.6%	7 0.6%	11 1.0%	4.61	4.56
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	800 72.9%	216 19.7%	56 5.1%	9 0.8%	9 0.8%	4.64	4.64
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	686 62.5%	266 24.2%	85 7.7%	32 2.9%	21 1.9%	4.43	4.50
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	678 61.8%	264 24.1%	92 8.4%	39 3.6%	17 1.5%	4.42	4.49
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	686 62.5%	267 24.3%	81 7.4%	36 3.3%	20 1.8%	4.43	4.47
[Q2] 6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	695 63.4%	246 22.4%	96 8.8%	32 2.9%	21 1.9%	4.43	4.49
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	689 62.8%	265 24.2%	93 8.5%	24 2.2%	19 1.7%	4.45	4.48
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	767 69.9%	240 21.9%	59 5.4%	10 0.9%	14 1.3%	4.59	4.57
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	733 66.8%	258 23.5%	71 6.5%	11 1.0%	17 1.5%	4.54	4.55
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	726 66.2%	236 21.5%	91 8.3%	14 1.3%	23 2.1%	4.49	4.53
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	703 64.1%	288 26.3%	76 6.9%	8 0.7%	15 1.4%	4.52	4.52
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	685 62.4%	269 24.5%	87 7.9%	27 2.5%	22 2.0%	4.44	4.49

授業改善のためのアンケート 令和元年度後期

食物栄養科



上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻したりしないで受講しましたか。	668 69.1%	221 22.9%	54 5.6%	16 1.7%	8 0.8%	4.58	4.55
[Q1] 2	授業中に私語、いじめや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	499 51.6%	324 33.5%	110 11.4%	29 3.0%	5 0.5%	4.33	4.43
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	561 58.0%	311 32.2%	82 8.5%	12 1.2%	1 0.1%	4.47	4.54
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	565 58.4%	293 30.3%	88 9.1%	19 2.0%	2 0.2%	4.45	4.56
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 74 7.7%	(1～2時間) 200 20.7%	(30分～1時間) 266 27.5%	(15～30分) 181 18.7%	(15分未満) 246 25.4%	2.66	2.36
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	678 70.1%	245 25.3%	39 4.0%	5 0.5%	0 0.0%	4.65	4.60
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	705 72.9%	229 23.7%	27 2.8%	6 0.6%	0 0.0%	4.69	4.64
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	628 64.9%	264 27.3%	59 6.1%	13 1.3%	3 0.3%	4.55	4.54
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	634 65.6%	245 25.3%	73 7.5%	11 1.1%	4 0.4%	4.54	4.54
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	635 65.7%	251 26.0%	66 6.8%	13 1.3%	2 0.2%	4.56	4.53
[Q2] 6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	652 67.4%	237 24.5%	62 6.4%	13 1.3%	3 0.3%	4.57	4.53
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	641 66.3%	257 26.6%	52 5.4%	11 1.1%	6 0.6%	4.57	4.51
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	692 71.6%	225 23.3%	46 4.8%	3 0.3%	1 0.1%	4.66	4.60
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	686 70.9%	233 24.1%	41 4.2%	5 0.5%	2 0.2%	4.65	4.58
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	664 68.7%	242 25.0%	47 4.9%	12 1.2%	2 0.2%	4.61	4.56
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	628 64.9%	283 29.3%	50 5.2%	5 0.5%	1 0.1%	4.58	4.56
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	635 65.7%	260 26.9%	64 6.6%	8 0.8%	0 0.0%	4.57	4.56

食物栄養科

授業評価に関する学科長見解（学科長 立松洋子）

（令和元年度前期）

学生の自己評価である Q1-1～Q1-4 は 4.33～4.66 と高い評価であり、学生自身が努力したことが見受けられた。予習・復習等の授業時間外学習は 30 分～1 時間が最も多かったが（30.4%）、時間数が短い学生も 15 分未満が 21.9%、15～30 分が 15.2%と合計 37.1%いたことから、授業時間外学習に意欲的に取り組めるような課題や学習内容の設定が必要であると思われた。また、学生の自由記述から、提出した課題のチェックが無かったり、実施する予定だった小テスト等が無かったりすると、授業時間外学習の意欲が低下するという意見もあったので、教員側の課題等の添削方法を見直す必要もあると思われた。

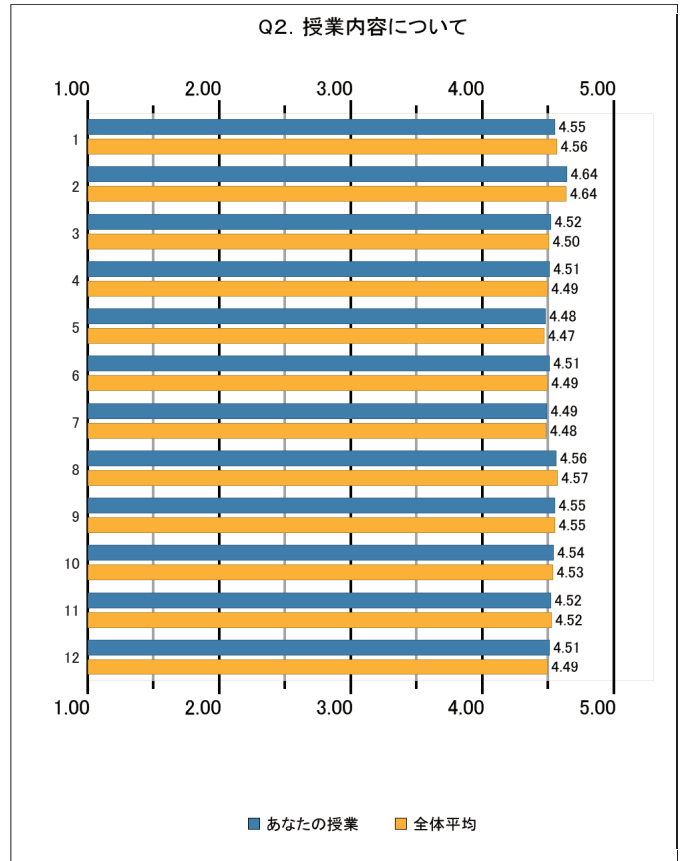
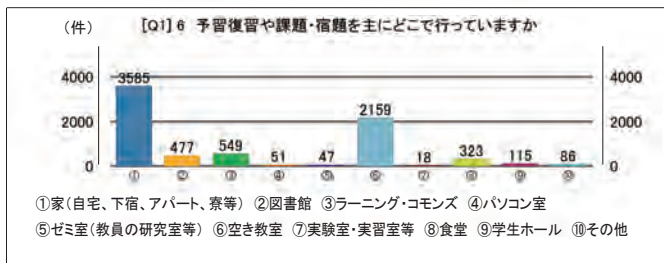
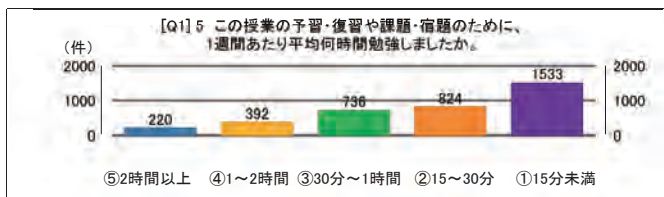
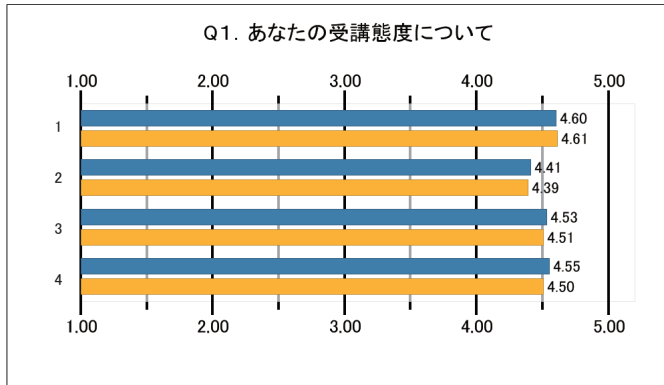
授業の評価である Q2-1～Q2-12 は 4.42～4.64 と高い評価であり、学生の授業に対する満足度は高かったと言える。

（令和元年度後期）

学生の自己評価である Q1-1～Q1-4 は、4.33～4.58 と高評価であり、前期と変わらず学生自身が努力したことが見受けられた。授業時間外学習も前期の結果と同様に、30 分～1 時間の学生が最も多く 27.5%であった。しかし、15 分未満の割合が、前期より増えて 25.4%となった。実験・実習より講義や演習の科目の時間数が少ない傾向にあるので、今後は、講義や演習の科目における授業時間外学習の強化に努める必要がある。

授業の評価である Q2-1～Q2-12 は 4.54～4.69 と高い評価であった。前期と後期を比較すると、Q2 のすべての項目において、前期よりも後期の得点がアップしており、授業に対する満足度も高かったと言える。

授業改善のためのアンケート 令和元年度前期 初等教育科

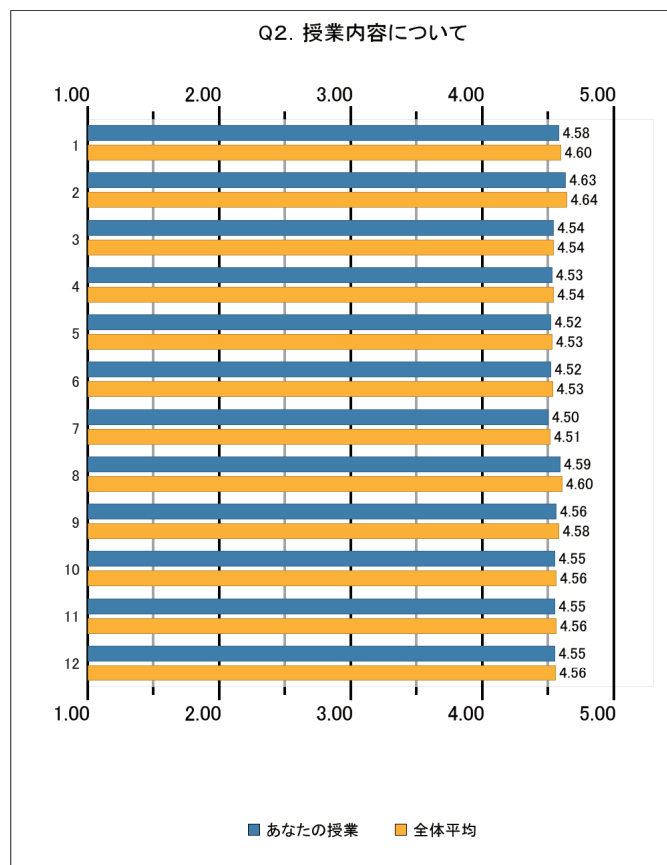
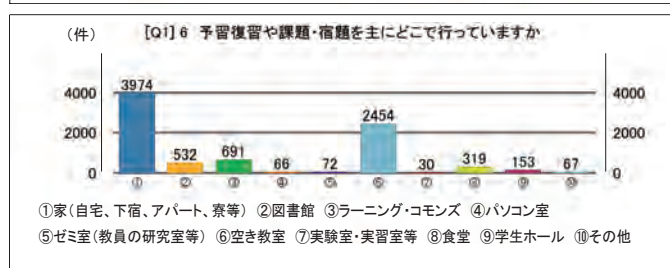
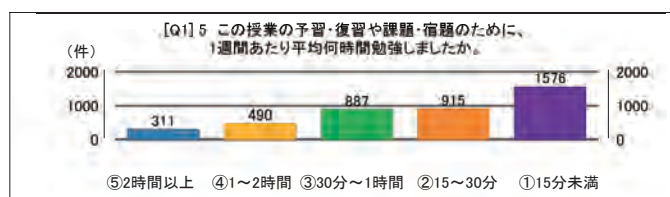
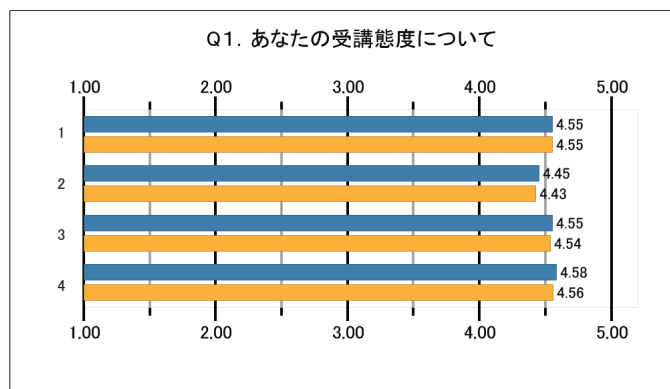


上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻したりしないで受講しましたか。	2615 70.3%	806 21.7%	206 5.5%	52 1.4%	26 0.7%	4.60	4.61
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	2097 56.4%	1132 30.4%	386 10.4%	60 1.6%	30 0.8%	4.41	4.39
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	2345 63.0%	1034 27.8%	271 7.3%	40 1.1%	15 0.4%	4.53	4.51
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	2421 65.1%	984 26.4%	241 6.5%	41 1.1%	18 0.5%	4.55	4.50
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 220 5.9%	(1～2時間) 392 10.5%	(30分～1時間) 736 19.8%	(15～30分) 824 22.1%	(15分未満) 1533 41.2%	2.17	2.32
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	2473 66.5%	886 23.8%	281 7.6%	35 0.9%	28 0.8%	4.55	4.56
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	2668 71.7%	804 21.6%	176 4.7%	29 0.8%	26 0.7%	4.64	4.64
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	2453 65.9%	878 23.6%	260 7.0%	73 2.0%	39 1.0%	4.52	4.50
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	2429 65.3%	889 23.9%	281 7.6%	61 1.6%	43 1.2%	4.51	4.49
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	2374 63.8%	901 24.2%	315 8.5%	59 1.6%	54 1.5%	4.48	4.47
[Q2] 6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	2458 66.1%	850 22.8%	275 7.4%	70 1.9%	50 1.3%	4.51	4.49
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	2391 64.3%	895 24.1%	312 8.4%	61 1.6%	44 1.2%	4.49	4.48
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真実さが感じられましたか。	2522 67.8%	856 23.0%	251 6.7%	38 1.0%	36 1.0%	4.56	4.57
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	2510 67.5%	853 22.9%	257 6.9%	44 1.2%	39 1.0%	4.55	4.55
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	2521 67.8%	817 22.0%	268 7.2%	45 1.2%	52 1.4%	4.54	4.53
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	2401 64.5%	933 25.1%	298 8.0%	42 1.1%	29 0.8%	4.52	4.52
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	2446 65.7%	864 23.2%	276 7.4%	57 1.5%	60 1.6%	4.51	4.49

授業改善のためのアンケート 令和元年度後期

初等教育科



上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻したりしないで受講しましたか。	2757 66.0%	1056 25.3%	277 6.6%	66 1.6%	23 0.6%	4.55	4.55
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	2388 57.1%	1363 32.6%	363 8.7%	51 1.2%	14 0.3%	4.45	4.43
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	2689 64.3%	1172 28.0%	273 6.5%	38 0.9%	7 0.2%	4.55	4.54
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	2805 67.1%	1065 25.5%	263 6.3%	33 0.8%	13 0.3%	4.58	4.56
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 311 7.4%	(1～2時間) 490 11.7%	(30分～1時間) 887 21.2%	(15～30分) 915 21.9%	(15分未満) 1576 37.7%	2.29	2.36
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	2793 66.8%	1093 26.2%	239 5.7%	34 0.8%	16 0.4%	4.58	4.60
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	2910 69.6%	1031 24.7%	187 4.5%	30 0.7%	17 0.4%	4.63	4.64
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	2721 65.1%	1089 26.1%	278 6.7%	64 1.5%	23 0.6%	4.54	4.54
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	2730 65.3%	1087 26.0%	258 6.2%	60 1.4%	40 1.0%	4.53	4.54
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	2708 64.8%	1073 25.7%	302 7.2%	58 1.4%	34 0.8%	4.52	4.53
[Q2] 6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	2736 65.5%	1047 25.1%	273 6.5%	85 2.0%	34 0.8%	4.52	4.53
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	2675 64.0%	1062 25.4%	328 7.8%	70 1.7%	40 1.0%	4.50	4.51
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さを感じられましたか。	2848 68.2%	1025 24.5%	240 5.7%	42 1.0%	20 0.5%	4.59	4.60
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	2795 66.9%	1028 24.6%	285 6.8%	42 1.0%	25 0.6%	4.56	4.58
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	2786 66.7%	1027 24.6%	268 6.4%	60 1.4%	34 0.8%	4.55	4.56
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	2730 65.3%	1106 26.5%	271 6.5%	49 1.2%	19 0.5%	4.55	4.56
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	2776 66.4%	1060 25.4%	245 5.9%	56 1.3%	38 0.9%	4.55	4.56

初等教育科

授業評価に関する学科長見解（学科長 藤田光子）

（令和元年度前期）

令和元年度前期の学科全体傾向は学生の自己評価・授業評価いずれの設問に対しても、4.41～4.64 と高得点を示しており、学生の授業に対する満足度は高いと言える。学生の意欲に対し、授業への評価が高い科目も多く、授業に対する評価が高いと言える。

また昨年同様 Q1-1 以外の項目においては、すべて平均以上であり、授業内容・態度共に充実していたことがわかる。Q1-1 授業の出席に対する学生の意欲はその他の項目にも影響するため授業の出席に対する学生の意識をオリエンテーション等で再確認させることも必要であろう。Q1-5 の時間外学習についてはこれまでの課題であったが、15 分未満が依然として多い。学生自身の学習意欲の向上、自主的な学習が必要であるが、各科目とも学生が時間外学習の必要性和意味を理解しつつ取り組みやすい課題の提供や提出の促しが必要となる。毎時間内の確認やノート等の提出などさらなる工夫が必要である。

（令和元年度後期）

令和元年度後期の学科全体傾向は受講態度・授業内容いずれの設問に対しても 4.45～4.63 と高得点を示しており、特に満足度を示す設問は前期より平均が高く、学習の満足度が高いと言える。また自身の意欲より授業への評価が高い科目も前期より増加している。

具体的には Q1-5 の授業外学習については 15 分未満が最も多いが、さらに 1 時間から 2 時間学習している学生が微増ではあるが増加している。シラバスへの時間外学習の記載や各科目での指導、授業改善等の取り組みにより授業時間外学習において良い変化が見られる。

全般として自身の受講態度・授業の評価とも授業に対する満足度がうかがえる結果となったが、学生の授業に対する出席の重要性や授業環境の整備については今後の継続的課題と言える。

令和元年度 授業評価報告書

編 集：別府大学短期大学部 FD 委員会
発行年月日：令和 2 年 3 月 31 日